



# 進路だより

茨城県立大子特別支援学校  
働きがい推進部  
令和5年度 No. 4

北風吹く季節、寒い中にも春が近づいているのを肌で実感します。2/28(水)は、例年より早く、中学部3年生が高等部受検に臨みました。自分を信じて、もてる力を存分に発揮してきたことと思います。

今回のテーマは、「短期入所(ショートステイ)」についてです。



## ○ 短期入所とは

「ショートステイ」とも呼ばれ、自宅で過ごす障害のある方が、短期間(1日~)\*、夜間も通して施設に入所できるサービスです。 \* 同じ施設利用の場合、連続して使える日数は原則 30 日です。

### 利用するには

- (1) 短期入所の利用には、障害福祉サービス受給者証が必要です。大子町役場や常陸大宮市役所など、お住いの市町村の福祉課の窓口申請してください。
- (2) 費用(個人負担)は、受給者証記載の利用者負担分と食費等(実費)が必要です。利用施設によって料金が違います。

## ○ 施設案内

短期入所は、ニーズが高く希望者も多いため、早めに相談し、利用できる事業所と連携しておくことが大切です。事業所と利用契約を結ぶ際は、事業所の雰囲気や受けられるサービスの詳細を確認した上で、選択されることをおすすめします。

短期入所が利用できる事業所について、本校通学区域を中心に掲載します。参考にしてください。

### 【常陸大宮市】

- 慈雍厚生園 (TEL:0295-55-2727)
- やまびこ厚生園 (TEL:0295-56-2254)
- 美春の郷 (TEL:0295-57-1002)
- 常陸華の里 (TEL:0295-55-9551)

### 【那珂市】

- 総合自立支援事業所Iup (TEL:029-212-4300)
- なるみ園 (TEL:029-295-9100)
- ナザレ園 (TEL:029-296-0177)

### 【常陸太田市】

- 障害福祉サービス事業所 ひまわり (TEL:0294-70-5033)



## ○ もしもの時だけでなく、息抜きとしても



短期入所は、家族の怪我や病気、冠婚葬祭など、一時的に在宅での介護が難しいときの強い味方です。介護者にとっては、レスパイト(休息)としての役割も担っており、お子様にとっても家族以外の人と、家庭以外の環境に触れる貴重な機会になります。また、いざという時、初めての利用だと児童生徒の皆さんが不安になったり、施設の方が児童生徒の皆さんのことをよく知らないまま対応したりすることになるので、お試して何度か利用しておくこともおすすめします。

## 3学期の学習から

### キャリア教育の視点

自分らしい生き方を(見つけて)

実現する(ために必要な意欲や態度を育てる)教育



### ★ 小学部 川のがっこう

ライフジャケットを着用し、やなせキャンプ場の河原で川遊びを体験した夏。今回は冬の河原に出かけ、川の水の冷たさや河川敷の寒さなど、冬ならではの自然の姿や季節の変化を、大自然のフィールドで体感しました。

子どもたちは、体と心で自然を感じながら河原周辺を散策し、夏との違いを見つけたり、大小さまざまな形の石探しに夢中になったり、最初はおっかなびっくり靴底を川の水につけていた子も、最後は膝下までジャブジャブ思いのままに川に入ってみたりと、全身で川を感じ、楽しむ様子が見られました。

また、楽しい活動の中にも、冬の寒さや川の怖さなど多くの危険があることも学び、キャンプ村やなせの高橋さんご夫妻から、薪割りや焚火の仕方を教えていただいたり、お湯を沸かして温かい飲み物を飲んだりして、冷えた体を内外から温める工夫も体験しました。自然体験活動を通して、子どもたちは、自分の好きなことを見つけて夢中になって取り組むことの楽しさを知ることができました。その道の達人である地域の方と関わり、友達と一緒に様々な遊びを考えたり、焚火などを協力して行ったりすることで、友達だけでなく自分の良さを再発見したり、自分の役割を意識し、自信をもって取り組んだりする経験を積むこともできました。

